

令和 6 年



県と市町の情報ホットライン

かがわ

vol.
125

発行●(公財)香川県市町村振興協会 監修●香川県政策部自治振興課
HP●<http://chousonkai.or.jp/shinkou/publication/>

まちづくり最前線/土庄町

My Town

域学連携交流事業『とのしょうキャンパス』

株式会社BIKEN 代表取締役社長 田中 崇嗣さん

Top Message

ワクチンの安定供給で、世界中の人々の大切な命を守る

地域の元気印/高松市

People

栗林公園ボランティアガイドクラブ



「栗林公園ボランティアガイドクラブ」は、2025(令和7)年に20周年を迎えます。
名園も同年150周年を迎え、ぜひとも足を運んでいただきたい記念の年です。
写真は、120人のメンバーを代表して、左から副会長の榎屋美智子さん、会長の谷明憲さん、英語のガイドもできる森下博さんです。



土庄町



地域の課題を大学とともに解決する!?

域学連携交流事業 『としようキャンパス』

総務省がバックアップする「域学連携」は、大学生と大学教員が地域の現場に入り、地域の課題解決などに取り組むものですが、地域の活性化や人材育成といった成果を挙げるまではなかなか難しいものがあります。土庄町では、地域おこし協力隊がキーマンとなつて域学連携交流事業を実りのあるものになっています。

土庄町 域学連携交流事業とは

2015(平成27)年から始まった「土庄町域学連携交流事業」とは、土庄町と地域連携活動を積極的に展開している大学が連携して、町民・島民の協力を得ながら地域が抱えるさまざまな課題を発見・分析・解決していく取組のことです。

大学生にとつては、座学では得られない現場ならではの実践的な知識、取組、課題について学ぶことができます。これは分かりやすい成果ですが、他地域では受け入れるのが大変で成功例が少ないという声も聞こえてきます。「それは、地域にとつての意味を十分に考えられていないからではないでしょうか。そこを自分

埋めることができればという思いで活動を

続けてきました」と語るのは、土庄町地域おこし協力隊の森亜紀子さん。「学生にも学びがあり、地域の人にとつても意義がある。そういうテーマややり方をしっかり見つけることが肝心です」と続けます。

大学生や研究者の 視点を取り入れ 地域の課題を解決

土庄町では、高校を卒業すると大半が島外に出てしまいます。普通にまちづくりに取り組もうとすれば、20代、30代の意見はほとんど反映することができません。しかし、域学連携を活用すれば、人口比率が最も少ない若い世代のアイデアや力を、まちづくりに生かす

ことができます。そして、地域の人々は、普段は考えていなかった地域の課題や魅力に気づき、

思ってもみなかった視点を
得ることができます。

活動例としては、2023
(令和5)年
度は、島内でも
関心が高い

オリーブをテーマに、フィールドワークを実施。また、新型コロナウイルス感染症や貴重な地域の文化遺産などをテーマに土庄町と大学が手を結び、住民を対象にした1日キャンパスも開催しました。



京都産業大学生命科学部フィールドワーク@豊島
『オリーブと小豆島オリーブ牛を通して循環型農業について学ぶ』



左から、土庄町役場企画財政課の丸井彩華さんと土庄町地域おこし協力隊の森亜紀子さん。



武庫川女子大学卒論生とファンで移住した方
『からかい上手の高木さんの聖地巡礼が地域に
与えた影響』



神戸学院大学松田ゼミ
『大部地区の昭和51年の災害の記憶を記録する
(動画制作)』



香川大学サテライトセミナー@豊島公民館
『長谷川先生による防災の授業「地域の災害特性を知ろう」』

土庄町域学連携交流事業「とのしょうキャンパス」HP <https://tonosho-campus.net>



2024(令和6)年度は住民間で関心が高まる防災にテーマを絞りました。町が作成した防災ハザードマップを、いかに地域の方々に生かしてもらうかは課題のひとつです。そこで、地質学や防災を熟知した香川大学の長谷川修一先生と避難場所までのルートをチェックしながら、住民のみなさんが歩きました。土庄町では、こういうセミナーを各地区の公民館で行っています。

災害に関して言えば、1976(昭和51)年に小豆島で記憶に残るような大災害が発生し、多くの犠牲者が出ました。その証言を学生がカメラを回して集め、編集を重ね、見応えのある証言集に仕上げてくれたというケースもあります。これは地元の人々に喜ばれ、各地で上映会を開いてほしいとの要望が来ています。

また、卒論作成のために個人で島を訪れる学生もいます。卒論で使用した非常に内容のある調査結果を町に提供してくれ、貴重な資料となっています。そんな学生の中には、授業の一環で土庄町を訪れ、次に卒論のテーマにも土庄町を選び、卒業後は土庄町に就職してくれた人もいます。

やりたいことのテーマは決まっても、そこから手をつければと悩む人も多いのですが、「そこは、地元に詳しい行政にお任せ

ください」と土庄町役場企画財政課の丸井彩華主事から頼もしい一言をいただきました。

さまざまな成果を得ている域学連携事業。大学と地域の方の間に入って、地域の課題を着実に解決する道を見つけることが、重要な役割だと考えています。

学生の活動をサポート 「夢すび館」

2018(平成30)年の3月、土庄町でフィールドワークや調査研究を行う大学生と大学教員のみなさんが気軽に宿泊できる町営施設「夢すび館」がオープンしました。非常にリーズナブルな施設で1泊2日2,000円(※包括連携を

結んでいる大学なら1泊2日1,000円。)で利用できます。「島に来るには交通費がかかりますので、宿泊費だけでも抑えることができれば、学生さんたちにとって少しでも来やすい場所になると思います」と話す丸井さんです。

現在の悩みや問題点

最も苦労しているのは、担当者がキャバオーバーになるという点。大学のみなさんは、テーマを決め、調査などをし、問題解決の提案をしてくれますが、実現するのは土庄町の仕事です。例えば、MAPを

制作する際、デザイナーなどの業者の手配や校正のやりとりは、学生にお願いすることはできません。また、嬉しいことではありますが、大学、学生が来てくれるたびに、テーマが増え、年々深まっていくので、仕事は増えていく一方です。「地域おこし協力隊は任期がありますが、次の候補者がなかなか見つからないのも悩みの種です」と森さん。観光や移住などと比べて、何をするのがあらかじめ決まっていないのが域学連携。その時々々の学生のカラーや地域住民のニーズなどに合わせて、活動内容をボトムアップでつくっていきます。その面白さを説明できれば、応募してくれる人も増えるのではと頭をひねっています。

今後の展開について

現在、第二の交流拠点「土庄町多目的交流施設(とのたる館)」を改修中です。レンタルオフィスやコワーキングスペース、サテライトキャンパスも設け、大学生の利用はもちろん、地域の住民や移住希望者、放課後の高校生などさまざまな人々の交流拠点として利用できるよう考えています。域学交流から移住・定住へと若い力が土庄町に広がり、根付くことを願っています。

香川の先進企業の力を探る あの人に会いたい！

株式会社BIKEN

代表取締役社長

田中 崇嗣さん

ワクチンへの理解や定期接種
が広がることはもちろん、
教育現場での啓発活動など、
地方自治体のみなさんと力を
合わせ地域に役立つ株式会社
BIKENであり続けたいと
願っています。

BIKENグループは、2024（令和6）年に90周年を迎えた一般財団法人阪大微生物病研究会（以下、「BIKEN財団」という。）が主になり、ワクチンの製造・販売事業、学術助成事業、研究事業、検査事業を行っています。その中で、ワクチンを工業的に生産するワクチン製造事業を担っているのが、香川県観音寺市に本社を構える株式会社BIKENです。人々の大切な命を守る日本発世界初のワクチンを開発・製造し続ける株式会社BIKENの代表取締役社長、田中崇嗣さんにお話を伺います。





BIKEN財団の観音寺研究所 瀬戸センターと、株式会社BIKENの本社兼瀬戸事業所の外観。

高い清浄度を維持する設備管理はもちろん、専門的な訓練によって培われた、知識と高い技術、そして、「いのちを守る」という責任感が、品質の高い製品製造を実現しています。



本社エントランスには、90周年を記念し、これまでのあゆみを振り返ることができるブース展示を設置。



BIKENグループと貴社について 教えてください。

大阪大学の附属施設からスピンアウトして、大阪の堂島にBIKEN財団を設立したのが始まりでした。

大阪大学の教授であった細菌学者の谷口^{くぐ}典二博士は、関東大震災などを経験し、東京帝国大学伝染病研究所（現在の東京大学医科学研究所）だけではなく、東西にそれぞれ感染症に関わる拠点を作る必要があると強く思うようになりました。それに賛同したのが実業家であり篤志家として知られる山口玄洞^{げんどう}氏でした。山口氏をはじめ多くの人々の協力をいただいて、1934（昭和9）年にBIKEN財団となる一般財団法人阪大微生物病研究会が生まれたのです。

第2次世界大戦後の1946（昭和21）年、国内では腸チフスが蔓延していました。このワクチン製造の必要に迫られ、香川県に観音寺研究所を設立、ワクチンの製造が始まります。現在の場所よりさらに北の地に観音寺市での発祥の地がありますが、そちらが手狭になり、2011（平成23）年に観音寺研究所瀬戸センターが完成しました。

グループ全体の事業内容としては、

微生物病に関する研究、ワクチンを含む生物学的製剤の製造供給、国内で感染症についての研究や臨床研究に取り組む先生方への学術研究の助成などを行っています。

また、BIKEN財団のバイオメディカルサイエンスセンターでは、地域社会の保健医療を支えてきた臨床検査に加え、ゲノム解析、研究活動、教育支援なども行っています。例えば、甲子園球児が毎日新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」という。）の検査をしていましたが、これは全て阪大微生物病研究会で行っておりました。もちろん、コロナのみならず、医療機関から上がってくる検査を臨床検査という形で受託し、検査結果をお届けしています。

グループで約1,000人の従業員がおりますが、その中の約670人が当社の従業員です。当社は、主にワクチンを含む生物学的製剤の製造および供給を行っています。

当社の成り立ちをご説明すると、2010（平成22）年頃に医薬品業界でさまざまな問題が浮上し、しっかりとした経営基盤や技術、さらなる生産基盤の整備が社会から求められるようになりました。そこで、2017（平成29）年に、販売を

委託していた、医薬品の生産や管理手法を持つ田辺三菱製薬と、ワクチン製造技術を持つBIKEN財団が一丸となり、ワクチン製造に特化した当社が誕生しました。製薬会社の知見を入れて、生産技術や生産基盤を高め、より良いワクチンの製造と販売、研究開発をうまく循環させ、ワクチンのさらなる安定供給に貢献しようと考えたわけです。

拠点としては、大阪府吹田市にBIKEN財団の本部があり、大阪大学の中にBIKEN次世代ワクチン協同研究所があります。また、東京に厚生労働省や国立感染症研究所との連絡情報交換のため、事務所を設置。そして、香川県には瀬戸センター、当社の本社兼瀬戸事業所を構えています。当社の本社兼瀬戸事業所では、ひときわ背の高い建物を中心に施設が立ち並び、多くの製造棟を有しています。また、観音寺市での発祥の地にも八幡事業所として工場を構え、ワクチンの製造を行っております。

■貴社の企業理念を教えてください。

当社の企業理念は、BIKEN財団の企業理念でもあります。BIKENグループは90年前の設立時から変わら

ない志を持っており、ミッションとビジョンを「私たちの使命とめざす未来」と分かりやすく表現し、共通認識として掲げています。

『私たちの使命』は、「優れたワクチンを通じて、世界中の人々の大切な命を守る。」であり、『めざす未来』は、「病の不安から解放された、すこやかな未来をめざす。」です。

■ワクチン開発の経緯を教えてください。

BIKENは、これまで数々の日本初のワクチンを生み出してきました。1963(昭和38)年に経口生ポリオワクチンが承認されました。いわゆる小児麻痺とも呼ばれたポリオから、多くの子どもたちを守ってきました。1970(昭和45)年には、乾燥弱毒生麻疹(はしか)ワクチンの承認。1975(昭和50)年には、乾燥弱毒生風疹ワクチン、これらは2005(平成17)年に承認を受けた麻疹、風疹の混合ワクチンにつながります。1986(昭和61)年には、乾燥弱毒生水痘(水ぼうそう)ワクチンの承認を受けましたが、これは日本初のみならず世界初の水痘ワクチンでした。2009(平成21)年には、乾燥培養日本脳炎ワクチンの承認を受け、2012(平成24)年には、沈降精製

百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ混合ワクチンの承認を受けます。弱毒ポリオウイルスを用いた不活化ポリオワクチンも世界初の開発でした。そして、2023(令和5)年には、沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ混合ワクチンの承認を受けます。いわゆる5種混合というもので、5回の予防接種を1回で済ますことができるわけです。これにより、ずいぶん子どもたちの負担が軽減されました。



日本だけでなく、世界でも認められるBIKENのワクチン。

ています。2014(平成26)年には定期接種化となり、2016(平成28)年には、带状疱疹予防の適応追加承認も受けました。BIKENは日本における水痘ワクチンとポリオワクチンの唯一の製造所です。現在約11品目のワクチンがあり、日本でも最多品目を供給しているワクチンメーカーと言えます。

これらのワクチンにより、猛威を振るったポリオは2022(令和4)年の国内患者数は0人、ジフテリアも0人、日本脳炎は5人、はしかは1947(昭和22)年に181,303人であったのが、2019(平成31)年のデータでは74人に減少しました。ワクチンの定期接種化により、患者数は大きく減少し、大切な命を確実に守り続けています。

■貴社の今後の展開等についてお聞かせください。

まず、90周年を迎えたBIKEN財団は、10年後の100周年にどのような姿であるべきかと考え、前述の『私たちの使命』と『めざす未来』に基づいて、主な三つの目標を掲げています。「①社会に貢献する新しいワクチンの開発」、「②現在生産しているワクチンの安定的な供給」、「③

パンデミックのような緊急事態が発生したときには、即時にそのためのワクチンを供給できるよう準備」の三つです。そして、当社はその達成のため「ものづくり力を高める」ことを目標としました。

我々は社会ニーズに即して、常に新たなワクチンを世に送り出す必要があります。また、途切れることなく安定供給し続けなければなりません。そして、パンデミックが起こったときには、すぐに対応するワクチンを供給したいと考えています。今回のコロナによるパンデミックでは、残念ながらBIKENからワクチンを供給することが間に合いませんでした。パンデミックはまた起こると予想されていますので、その際にはしっかりと供給できる体制を整える必要があります。パンデミックに備えることは重点戦略の一つ、そのベースとなるのは「ものづくりの力を高める」ことに尽きます。そのためには技術を磨くだけではなく、新たな技術もどんどん取り入れようとして取り組んでいるところです。

■人材育成についてお聞かせください。

当社は、世界から注目される「ワクチンづくりに精通した人材の集団」を

目標として掲げています。これを実現するためには、高い技術力はもちろん高い組織力も必要です。外部の方との交流を促進し、人材育成が連鎖的に起こるような状態を作っていくことが肝心ではないかと考えています。

人材育成はどの企業でも力を入れていると思いますが、当社では基礎的な研修と専門的な研修を切り分け、また、新人から管理職に至るまで、階層別の研修を行うという二本立てで行っています。それぞれの階層で研修を受け、各々勉強もするのですが、それと同じくらい大切なのが、管理職はリーダーに、リーダーは中堅・若手に、中堅は新人に、自分自身もこういう勉強をしてきたというような指導を、上から下へ連鎖的に行うことを考えています。最近では転職もそうですが、真新しいことだけに関心が向きがちです。新しい考えも認めつつ、古くからの先輩から後輩への人材育成の連鎖も大事にしたいと思います。非常に日本的な発想かもしれませんが、先輩後輩の関係を強固にし、強い組織を作っていくということが、ワクチンづくりには大切なことだと考えています。

重視している取組をお聞かせください。

ひとつは、今後のパンデミック時の社会貢献についてです。今回のコロナ騒動を経験し、経済産業省も新たな感染症への備えとして、有事の際に国内でワクチンを円滑に生産できるように製造拠点の整備に注力しています。その一つとして「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業―治験薬製造拠点の整備事業」に当社も採択されました。パンデミック時に、さまざまなタイプのワクチンをスピーディーに開発・製造することが国から期待されています。

次に、当社でもサステナビリティに取り組んでいます。当社独自のものが「感染症啓発」の取組です。ワクチンは人々の健康を守るためにも、社会を守るためにも必要です。そこで、みなさんがワクチンに関心を持ち、その大切さを認識いただけるような啓発活動も必要となります。獲得免疫で健やかな体や社会を手に入れまじょうと、工場見学に訪れた子どもたちにも話をしていきます。

県や市町との連携したい事業はありますか。

先にも述べた、ワクチンの教育などの啓発活動です。ワクチンの有用性はやはり子どもから正しい知識を身に付けなければなりません。小さい頃から興味を持っていたことで、ワクチンの接種率向上につながり、ひいてはBIKENへも関心を抱いていただくと考えています。地元にもこういう施設があると知っていただけるだけでも、人材流出の歯止めになるのではないのでしょうか。

ワクチンは国や自治体の補助により接種が広がっています。ワクチンの効果を正しく伝えることは、製造を行う当社ならではの役目です。定期接種に対する取組も行政の方々と共に進めていきたいと思っています。

瀬戸内海を望むこの美しい地、香川県観音寺市から、今後も日本発・世界初のワクチン創出を目指し、地域の健やかな暮らしを守り、かけがえない命を守り続けたいと願っています。



田中 崇嗣 (たなか・たかし)

福岡県出身（観音寺市在住）
1956年10月7日生まれ 68歳

- 1985年 3月 広島大学大学院医学系研究科 博士課程(分子薬学) 修了
- 1985年 4月 田辺製薬株式会社 (現田辺三菱製薬株式会社) 有機化学研究所 入社
- 2015年 4月 田辺三菱製薬株式会社 執行役員 製薬本部長
- 2017年 6月 田辺三菱製薬株式会社 取締役 常務執行役員 製薬本部長
- 2019年 6月 一般財団法人阪大微生物病研究会 常務理事 就任
株式会社BIKEN 取締役を兼務
- 2023年 6月 株式会社BIKEN 代表取締役社長を兼務 現在に至る。

本社所在地 香川県観音寺市瀬戸町四丁目1番70号

PROFILE



瀬戸内国際芸術祭2025 メインビジュアル



政策部文化芸術局
瀬戸内国際芸術祭推進課
主幹 今瀧 哲之

瀬戸内国際芸術祭 2025

瀬戸内国際芸術祭は、『海の復権』をテーマに掲げ、瀬戸内の島々を舞台に、2010（平成22）年から3年に一度開催している世界的なアートフェスティバルです。

アートを道しるべに、船で島を巡りながら、瀬戸内の多島美や地域の方々と触れあいなどを通して地域の文化や歴史に触れる独自の手法が、多くのファンを獲得してきました。

アートが媒介となつて、瀬戸内に暮らす人々と、国の内外から訪れる多くのアーティスト、ボランティアサポーター、来訪者等との交流が新たな関係性を産み出し、地域の活力と元気を取り戻す壮大な取組として、世界から注目されています。

来年の春に開幕が迫る瀬戸内国際芸術祭2025は、春会期4月18日～5月25日、夏会期8月1日～8月31日、秋会期10月3日～11月9日の合計107日間の開催となり、会場は、今回新たに、香川県沿岸部のさぬき市の「志度・津田エリア」、東かがわ市の「引田エリア」、宇多津町の「宇多津エリア」の3カ所が会場に加わり過去最大のエリアとなります。来場者のみなさんには、島々と一緒に広く瀬戸内の沿岸部の街を楽しんでいただ

けると思います。

これまで芸術祭は、瀬戸内の持つ個性を生かしたプロジェクトを地域と協働し、世界と交流しながら実践してきましたが、6回目の開催となる今回は、更にその活動を深めていきます。

その中で、重点的なプロジェクトをいくつか紹介します。まず、アジアの文化芸術のハブとしての機能を高めるため、10を超える

アジア各国・地域からアーティストが参加するほか、アジアの英知が集う瀬戸内アジアフォーラム、高松港周辺でベトナムの民俗、芸能、工芸等を紹介するプロジェクトも開催します。

海外の国・機関との連携も強化し、今回新たに、ニュージーランド、スウェーデン、国連難民高等弁務官事務所と連携したプロジェクトを進めるほか、芸術祭の母港高松港のにぎわいづくりのプロジェクトや県内外の企業と連携した取組も進めていきます。

芸術祭は、地域の方々と一緒に創りあげていく

事業です。みなさんも、ぜひ、会場に足を運んでいただくとともに、ボランティアとしての参加も歓迎しています。それでは、来年、芸術祭の会場でお会いしましょう。

※現在、芸術祭2025の作品鑑賞パスポートの売り券（特別早割3,800円（1,700円引き1月17日まで）、前売り4,300円（1,200円引き4月17日まで））を販売中です。断然お得になっていますので、お早目の購入がおすすめです。



瀬戸内国際芸術祭2025 開催会場

地方自治法の一部を改正する法律について

市町村の

Q & A



政策部 自治振興課
主事 安達 友朗

「地方自治法の一部を改正する法律」が、2024（令和6）年6月26日に公布され、一部を除き9月26日に施行されました。

今般の改正は、①DXの進展を踏まえた対応、②地域の多様な主体の連携及び協働の推進、③大規模な災害、感染症のまん延その他その及ぼす被害の程度においてこれらに類する国民の安全に重大な影響を及ぼす事態における特例、の3つに大別されます。

本稿では、特に③の特例についてご説明いたします。

改正に至る経緯は？

第33次地方制度調査会が取りまとめた「ポストコロナ

の経済社会に対応する地方制度のあり方に関する答申」では、新型コロナウイルスにより顕在化した課題の一つとして国と地方の役割分担が挙げられ、国民の安全に重大な影響を及ぼす事態における特例を設ける必要があるとの提言がなされました。

これまでも、大規模な災害、感染症のまん延等の事態や、その対応に当たり生じた課題等を踏まえ、その都度、個別法の見直しを重ねられています。一方で、見直しが適時適切に行われていたとしても、新型コロナウイルス対応のような個別法において想定されていない事態は生じ得ると考えられます。

この場合、個別法の制定又は改正までの間は、法律上の根拠がない中で、国による働きかけや対応が行われることとなり、国と地方公共団体間の責任の所在が不明確となるため、迅速な対応が困難です。

今般の改正は、この提言を踏まえ、地方自治法に第2編第14章を新設し、そのような事態において国民の生命等の保護を的確かつ迅速に

行うことができるよう、国と地方公共団体の役割と権限を明確化するものです。

今回の改正でどのように変わるのか？

地方自治法第2編第14章の特例の概要は以下のとおりです。

①資料及び意見の提出の要求

事態対処の基本方針の検討等のため、国は、地方公共団体に対し、資料又は意見の提出を求めることを可能とする。

②事務処理の調整の指示

国民の生命等の保護のため、国の指示により、都道府県が市町村（保健所設置市区等）との事務処理の調整を行うこととする。

③生命等の保護の措置に関する指示（補充的な指示）

適切な要件・手続のもと、国は地方公共団体に対し、その事務処理について国民の生命等の保護を的確かつ迅速に実施するため講ずべき措置に関し、必要な指示ができることとする。

④地方公共団体相互間の応援又は職員派遣に係る国の役割

国による応援の要求・指示、職員派遣のあつせん等を可能とする。

国民の安全に重大な影響を及ぼす事態とは具体的にどのようなものか？

現時点で具体的に想定できる事態がある場合は、所管の省庁において個別法の制定・改正による対応がなされます。本改正は想定外の事態に備えるもので、具体的に例示できるものではありません。

国からの補充的な指示には対応義務があるのか？

補充的な指示は、地方自治法第245条第1号への「指示」に該当し、法的な対応義務を課すものです。なお、指示に不服がある地方公共団体は、国地方係争処理委員会に対し、文書で、審査の申出をすることができます。

やむを得ない

本改正に当たり、地方六団体は、政府に対し、国の補充的な指示が、現場の実情を適切に踏まえた措置となるよう、事前に協議や調整を行うことや指示の内容は必要最小限のものとするなどを求めています。

大分県
中津市

「ダイハツ九州スポーツパーク大貞（大貞総合運動公園）」にある大型複合遊具「わくわくふれあい広場」。
県内最大級の大きさでさまざまな遊具があり、連日多くの子どもたちで賑わう。

「暮らしNo.1のまちづくり」に向けた 魅力ある公園づくりの推進

中津市は「暮らしNo.1のまちづくり」を目指して、親子が楽しく集える遊び場づくりに取り組んでいます。その一環として、子どもにとって魅力的で満足でき、親子が集える大型複合遊具を整備することで、子育て世代を中心に多世代の市民が集い、レクリエーションや憩いの場として活用される魅力ある公園づくりを推進しております。



建設部 建設政策課 建設政策係
主任 武吉 弘樹さん

1 はじめに

中津市は、大分県の西北端に位置し、東は宇佐市、北西は福岡県に接し、北東は周防灘に面しています。面積は491.44km²で、市域の約80%を山林原野が占め、山国川下流の平野部には、まとまった農地と中心市街地があります。中津市は県北の中心都市であり、県都大分市までは約80km、政令指定都市の北九州市へは約50kmの距離にあります。

中津市の偉人には福澤諭吉先生がいまして、福澤先生は、19歳までを中津市で過ごし、啓蒙思想者、教育者として江戸時代末期から明治期に活躍され、現在の慶應義塾の創設者です。

また、1984（昭和59）年から現在の1万円札紙幣の肖像画に採用され、今年7月の新紙幣発行まで40年近くにわたり紙幣の顔を担っていました。その福澤先生の功績にあらためて光を当てようと「不滅の福澤プロジェクト」として市



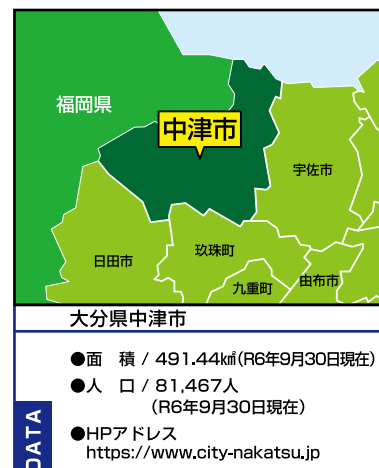
中津市の偉人 — 福澤 諭吉先生



中津からあげ〜からあげの聖地〜からあげ専門店市内約60店舗。

や地元経済界を中心として顕彰プロジェクトを進めています。

また、中津市のグルメといえば、全国にも知名度が広がりつつある「中津からあげ」です。中津市はからあげ専門店が多数（約60店舗）存在し、注文を受けてから揚げたてを提供するのが中津流です。近年「からあげの聖地」としても注目されており、県内外から多くの観光客を呼び込んでいます。



2 暮らし満足No.1のまちを目指して

当市では、第5次中津市総合計画「なかつ安心・元気・未来プラン2017」を2017（平成29）年に策定し、将来都市像として「暮らし満足No.1のまち中津」として、「安心づくり」では住環境の整備、「未来づくり」では高速交通網の整備促進、道路の整備、公園・緑地の整備と活用の施策項目を掲げ、暮らし満足No.1のまちに向け着実に進めているところです。

3 魅力ある公園づくりに向けて

第5次中津市総合計画において公園内に大型複合遊具の整備については、主要施策として位置付けられ、計画策定時には、特に子育て世帯から「子どもが安心して遊べる場所の整備」を望む声が多く寄せられました。

そこで、多くの市民が利用する『ダイハツ九州スポーツパーク大貞（大貞総合運動公園）』内に、子どもにとって魅力的で十分満足でき、親子が集える大型複合遊具の整備を計画し、2018（平成30）年4月に「なかつ・わくわくふれあい広場」がオープンいたしました。

大型複合遊具の設計・施工については、公募型プロポーザル方式により、当該工事受注業者を決定し、選定にあたっては、業者からの提案書や中津市内の子どもたちや子育て中の保護者に「公園にあつたらいと思う遊具や施設等」のアンケート調査を行いました。

大型複合遊具は県内最大級の大きさであり、主に小学生向けの遊具があり、5種類の滑り台のほか、壁のぼりのできるクライム施設など、さまざまな遊具があります。また、周辺にはターザンロープやブランコのほか、未就学児向けの遊具も併設されており、子どもの年齢に合わせて楽しく運動できる施設となっており、す。利用開始から現在に至るまで、休みの日を中心に多くの子どもたちで賑わっています。

さらに、2021（令和3）年7月には未就学児向けの大型複合遊具広場「のびのびパーク」を米山公園内に



「わくわくふれあい広場」に併設されている未就学児向けの遊具。ミニ滑り台やトンネルがある。

に開設し、子育て世帯の遊べるスポットの充実を図りました。

この施設も、「わくわくふれあい広場」と同様に公募型プロポーザル方式により、業者からの提案書やアンケート調査を行い、広場の整備を行いました。ミニタウンをイメージした遊具で、クライミングやスライダーなどのバランス感覚を養うものや、多様なパネル遊具で健やかな心を育むバラエティに富んだものとなっております。また、付添いの保護者も見守りやすく、快適に過ごせるような空間となっています。公園は子育て世代の親子が自由に集うことのできる場として、また、親子が一緒に



米山公園にある「のびのびパーク」。未就学児向けの遊具が中心で、クライミングやスライダーなどのバランス感覚を養うものや、多様なパネル遊具などバラエティに富んだものとなっている。

4 おわりに

遊ぶ場として適した場所であり、親子のふれあいの場の充実が、教育や子育て環境の充実の一端を担っていると考えます。

当市は、第5次中津市総合計画「なかつ安心・元気・未来プラン2017」に基づき、公園内で子どもが安心して遊べる場所の整備に取り組んでまいりました。また遊具施設のほか、トイレ施設のバリアフリー化やスケートボードエリア等



2024（令和6）年にダイハツ九州スポーツパーク大貞のトイレ改築工事を行い、入口及び室内のバリアフリー化を行った。



2023（令和5）年にダイハツ九州スポーツパーク大貞に設置したスケートボードエリア。東京オリンピックをきっかけにスケートボードエリアの整備を望む声が多く寄せられた。

香川の まち歩き

坂出市の沖にあり、今では陸続きとなった沙弥島。万葉の島と呼ばれるこの島は、瀬戸大橋の絶景スポットでもあり、瀬戸内国際芸術祭（以下、瀬戸芸。）の舞台としても注目を集めています。今回は歴史の宝箱のような沙弥島を巡ります。



ガイドしてくれた、坂出市役所 与島出張所の所長 濱本敏広さん(左)と、坂出市 建設経済部 産業観光課 主事 平西由宜さん(右)。

まず、目に留まったのは、島の港の入り口にある「えなが石」。空海の孫弟子として真言密教を継承した理源大師のへその緒を埋めたという伝説があり、今もなお、大岩がそびえています。次に「えびす神社」に寄り道。祠には瓦製の亀やサングがお供えしてあり

幕府のすずめで沖合に浮かぶ与島の住人が移り住み開拓にあたった沙弥島。人が住む以前にも、この島には瀬戸内海を行き交う人々により、貴重な歴史が刻まれてきました。

瀬戸芸で注目を集める陸続きの島、豊かな歴史を秘めた「沙弥島」めぐり 坂出市



瀬戸大橋を望む美しい浜「ナカンダ浜」。渚を歩けば土器のかげらが落ちていることも。

まず。大漁や海の安全を祈る島人の思いがしのべれます。坂道を下りると、見えてくるのは「ナカンダ浜」。ガイドの濱本さん曰く、『ンダ』というのは「浦」を意味し、「中の浦」で『ナカンダ』と呼ばれているそうです。整備された岩の道を抜け、やってきたのは「オソゴエの浜」。沙弥島が万葉の島と呼ばれるのは、万葉集で有名な柿本人麻呂が、オソゴエの浜で「玉藻よし 讃岐の国は…」と歌を詠んだからです。浜には、「柿本

中河与一氏が1936（昭和11）年に立てた「柿本人麻呂碑」。





沙弥島の西は波が荒く、東は穏やか。岩の道からは、静かに波が打ち寄せる「オソゴエの浜」を望めます。

島の人が大切に守ってきた理源大師をまつる大師堂。よく見ると屋根には、鬼瓦ではなく岩黒島の瓦職人が焼いたという亀がのっています。



沙弥島も登場する中河与一氏の小説「愛恋無限」。これを記念し、1977(昭和52)年に文学碑が建てられました。

出土した土器なども展示される万葉会館。その敷地内には、横穴式石室の「沙弥3号古墳」があります。



ナカンダ浜にある万葉植物ゆかりの花や木の和歌を紹介する万葉樹木園。

万葉会館右手の坂道を上がると、高台に広がるのは「千人塚」。ここは、古墳が集まる場所。また、周辺には、島内に立てられていた西国三十三所の石仏が

石室を見ることができます。大師堂の石段を下りると、「万葉会館」が見えてきます。普段は閉じられていますが、建物の裏手には、「沙弥3号古墳」があり、大きな岩を組み合わせた

石室を見ることができます。大師堂の石段を下りると、「万葉会館」が見えてきます。普段は閉じられていますが、建物の裏手には、「沙弥3号古墳」があり、大きな岩を組み合わせた

痕跡も、道すがら見ることができました。

山道を上がって向かったのは、沙弥島の先端「長崎鼻」。航海の途中に亡くなった人を埋葬したという古墳があります。再び沖を船で通った際に、よく見える場所に造ったのだらうとのこと。山上には他にも古墳が点々とし、中には子どもを埋葬したと推測される小さな石棺の跡もあります。また、見張り台があったという城山の跡もあり、石垣が築かれた

つもりだったそうです。

反対の山際には、坂出市出身の中河与一氏の文学碑「愛恋無限」があります。その傍らには、「舟艇塚」の説明の立て札。戦時中の1945(昭和20)年、小学生も含む地元住民の勤労奉仕で、軍のボートなどを隠すための壕を掘りました。瀬戸内海に米軍が攻め寄せてきた場合は、その小さな船で体当たりする

人磨碑」があり、歌人をしのびます。今は、オソゴエの浜にある石碑ですが、大きな石を奥の浜に据え付けるのが難しかったため、以前はナカンダ浜の東側の岩場の上にあったそうです。

集められています。

元来た道を下り

て、今度は島の氏神

様「金刀比羅神社」

の石段を上ります。

祭りの際には、獅子

舞などが行われ、島

の人々が集まる場所

として親しまれてい

ます。



長い石段を上がると、社と磐座信仰を思わせる大きな岩が迎えてくれる「金刀比羅神社」。

瀬戸内国際芸術祭の作品
ターニャ・プレミンガー
「階層・地層・層」
Photo:
Kimito Takahashi



「香川県立東山魁夷せとうち美術館」では、穏やかな瀬戸内海と瀬戸大橋を一望できるカフェがあります。
※設備工事のため2025(令和7)年4月上旬(予定)まで臨時休館中。

香川の自治に新しい力 New Face

はじめまして

三豊市 危機管理課 松本 紗杏奈さん



■今、熱中していることは？

バイクです。相棒であるレブル500と出会い、人生が大きく変わりました。目指すは日本一周です。

■三豊市をこうしたい！

誰もが安心して快適に暮らせる三豊市にしたいです。幅広い年代の方々から愛され、より活気あふれる賑やかなまちにします。

坂出市 教育総務課 赤谷 大地さん



■あなたのチャームポイントは？

親しみやすい雰囲気と笑顔です。初対面の方にも明るい印象を持つてもらえます。

■坂出市のいいところは？

瀬戸大橋があり、利便性が良いところです。沙弥島ナカンダ浜や五色台など、景色のいい場所も魅力です。

東かがわ市 地域創生課 栗原 楽夢さん



■目指す人物像は？

関わる方々から「この人なら安心して任せられる」と思っていただけの人になりたいです。

■東かがわ市のいいところは？

自然豊かなところです。海と山だけでなく、春には桜、秋にはコスモスなどが咲き、四季折々の景色を見ることが出来ます。

綾川町 陶こども園 井口 佳那さん



■今、熱中していることは？

新しいごはん屋さんを開拓することです。おいしい食べ物を食べてリフレッシュしています。

■綾川町をこうしたい！

住民の皆さまが暮らしやすく、活力に溢れた町にしたいです。そんな町にできるよう、保育の面から支えていきたいです。

中讃広域 行政事務組合 小川 歩華さん



■今、熱中していることは？

野球観戦です。今年人生初観戦して興味を持ち、中継を見ながらまだまだ勉強中です。

■組合の仕事内容は？

ごみ処理・リサイクル・滞納整理・情報処理・介護認定等、多岐にわたる業務を行っております。

小豆島町 生涯学習課 山田 開斗さん



■目指す人物像は？

父親です。家族のために弱音一つ言わずに働き、色々な人達に頼られる人柄を尊敬しています。

■小豆島町をこうしたい！

こどもが住みやすく、移住者にとっても敷居が低い、さまざまな制度が整った自然豊かな住みやすい町にしたいと思います。

三木町 教育総務課 藤川 正博さん



■あなたのチャームポイントは？

常に前向きなところです。また新たな環境で仕事ができるので、楽しみです。

■三木町のいいところは？

三木町の風景が好きです。讃岐富士の一つである白山や、広がる田んぼ、町の南側に連なる讃岐山脈の稜線等が美しいです。

香川県広域 水道企業団 川田 直諒さん



■目指す人物像は？

県民の皆さまに安心で安全な水を送り届けられるような技術者になりたいと思っています。

■企業団のPRをお願いします！

水道事業は、県民の皆さまの生活に密接に関わるものなので責任重大ですが、その分やりがいのある仕事だと思います。



質問などがあれば、さらに熱がこもるガイドさんの説明。それぞれの研さんや個性が光ります。



高松藩主松平家の代々の殿様が、百年をかけて造り上げたという栗林公園。国の特別名勝として、日本を代表する大名庭園です。



高松市

香川県の誇り、天下の名園をご案内

栗林公園

ボランティアガイドクラブ

栗林公園ボランティアガイドクラブ会長

副会長 榎屋 美智子さん

谷 明憲さん

ユニフォームの法被には、高松松平家ゆかりの葵の御紋が記されています。



共に退職後、公園のことを知りたくとガイドになった谷会長(右)と、教職の先輩に触発され応募した榎屋副会長。

名前の通りボランティアで栗林公園をガイドする「栗林公園ボランティアガイドクラブ」。2023(令和5)年度には、県のボランティア大賞を受賞しました。

クラブ発足は、2005(平成17)年10月。2025(令和7)年には20周年を迎えます。2024(令和6)年4月1日での会員数は120人、中には約20人の英語ができるガイド、また少人数ですが中国語や韓国語ができるガイドもいます。

そのガイドになるためには、香川県の広報誌「T H E かがわ」1月号に毎年掲載されている募集要項を見て応募します。1月末から2月にかけて週末に講習を受けて、ガイドデビュー。デビュー後も、みなさんそれぞれにテキストを見て自主学習をしています。基本の案内に加え、各々得意分野を深めていくので、個性を生かしたお話しが聞けます。

月に2日、年間24日のガイドを行うことを基本としていますが、



一步一景、魅力満載の栗林公園の見どころを熟知したガイドさんたち。映えるスポットを教えてください、感動と思いがさらに深まります。

自主的に出てこられる方が多いです。定時ガイドは毎週日曜日の午前10時半からですが、平日にも東門の発券機の近くでガイドさんと出会うことがよくあります。また、1週間前までの予約も、栗林公園観光事務所で受け付けています。

今年でガイド歴10年になるという谷会長は、「自然の中の素晴らしい庭園をぜひ見てほしい」と語ります。背景の紫雲山から続く「栗林公園」は、木々が揺れ季節の花が咲く、まさに美しい里山。その自然を生かしながら、歴代の大名が百年の月日をかけて名園を造り上げました。ご案内したお客さまから「素晴らしい公園でした」と称賛の言葉をいただくことが、会長の何よりのやりがいです。

また、ガイド歴5年の副会長の榎屋さんは、「ありがとうございました」と言われたら60点、「来て良かった」と言われたら80点、「また来たい」と言われたら100点と、ひそかに自分のガイドを採点しているそうです。

一步進むごとに景色が変わることから「一步一景」と言われますが、季節ごと、日ごとにも表情が変わる名園に「何度も足を運んでください」と願うガイドさんたちです。

そんなみなさんの最近の心配は、団体客のほとんどが外国人客で、日本人の観光客が減ってしまったことです。

2025(令和7)年に開園150周年を迎える栗林公園。地元のみならず、足も運んでいただき、その良さを再発見してほしいと願っています。その際は、遠慮なく案内をお願いします。

DATA

栗林公園ボランティアガイドクラブ
香川県高松市栗林町1-20-16
栗林公園観光事務所 ☎087-833-7411

市町等職員研修事業

市・町・一部事務組合等の人材育成を支援するため、
香川縣市町職員研修センター（公益財団法人香川縣市町村振興協会内）で研修を実施しています。

階層別研修	初任者、3年目職員、一般職員、係長級（主査等）、係長級（監督者）、課長補佐級、課長級、定年延長職員研修
能力開発研修 （県との合同研修）	意識改革、政策形成、法務能力、対人能力、マネジメント、職務遂行に関する40講座
専門研修	コンプライアンス研修、人事管理基礎研修他
派遣研修	市町村アカデミー、国際文化アカデミー、自治大学校、 香川大学大学院地域マネジメント研究科、下水道事業団研修、消防大学校、海外研修
職場・自己啓発支援	講師派遣、図書・ビデオの貸し出し

●各団体で実施する研修を支援する講師派遣制度、図書・ビデオの貸し出しもぜひご利用ください！

※引き続き、参加しやすい研修体制づくりに努めていきますので、積極的にご参加ください。



☆研修に対するご意見、ご要望をお寄せください！！

公益財団法人香川縣市町村振興協会
香川縣市町職員研修センター



宝くじのご購入は香川県内の売り場で！

宝くじの収益金は、私たちの街の公共事業等に役立てられています。

宝くじ
公式サイト

宝くじがネットで購入できる！

宝くじの収益金は、明るく住みよいまちづくりに使われます

宝くじ公式サイト | Q



お問い合わせ先

宝くじコールセンター

TEL 0570-01-1192（ナビダイヤル 有料）

TEL 011-330-0777（有料）

公益財団法人 香川縣市町村振興協会